

# 決算報告書

## 平成30年度 決算報告書

国立大学法人広島大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	25,163	25,436	273	(注1)
施設整備費補助金	804	799	△ 5	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	1,502	1,932	430	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	72	72	-	
自己収入	38,033	40,049	2,016	
授業料, 入学料及び検定料収入	8,673	8,745	72	(注4)
附属病院収入	28,728	30,610	1,882	(注5)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	632	694	62	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	6,875	8,701	1,826	(注7)
引当金取崩	437	406	△ 31	(注8)
長期借入金収入	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	50	45	△ 5	(注9)
計	72,936	77,440	4,504	
支出				
業務費	61,904	60,805	△ 1,099	(注10)
教育研究経費	34,463	33,625	△ 838	
診療経費	27,441	27,180	△ 261	
施設整備費	876	871	△ 5	(注11)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	1,502	1,932	430	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	6,875	6,791	△ 84	(注13)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	1,779	1,771	△ 8	(注14)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	72,936	72,170	△ 766	
収入 - 支出	-	5,270	5,270	

○ 予算と決算の差異について

- (注 1) 運営費交付金については、機能強化経費(全国共同利用・共同実施分)及び特殊要因運営費交付金(退職手当)が追加交付されるとともに、補正予算(第1号)(第2号)が追加交付されたことにより、予算額に比して決算額が273百万円多額となっています。
- (注 2) 施設整備費補助金については、国の補正予算の措置による増の一方で、予算段階で予定していた計画の変更及び一部事業の翌事業年度繰越により、予算額に比して決算額が5百万円少額となっています。
- (注 3) 補助金等収入については、補助金の新規採択等が予算段階の見込額を上回ったことにより、予算額に比して決算額が430百万円多額となっています。
- (注 4) 授業料、入学料及び検定料収入については、修士、博士課程及び研究生に係る授業料収入が予算段階の見込額を上回ったことなどにより、予算額に比して決算額が72百万円多額となっています。
- (注 5) 附属病院収入については、診療報酬改定に伴う影響及び高度な医療提供等に伴う診療単価の増加などにより、予算額に比して決算額が1,882百万円多額となっています。
- (注 6) 雑収入については、主として、特許権等収入及び財産貸付料収入が予算段階の見込額を上回ったことなどにより、予算額に比して決算額が62百万円多額となっています。
- (注 7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、積極的な獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が1,826百万円多額となっています。
- (注 8) 引当金取崩については、予算段階の見込額より取り崩しが少なかったため、予算額に比して決算額が31百万円少額となっています。
- (注 9) 目的積立金取崩については、予算段階で予定していた計画の変更により、予算額に比して決算額が5百万円少額となっています。
- (注 10) 業務費については、計画的な執行に伴う教育研究経費の減少及び総合病院情報システムの再リースに伴う賃借料の減少などにより、予算額に比して決算額が1,099百万円少額となっています。
- (注 11) (注 2)に示した理由により、予算額に比して決算額が5百万円少額となっています。
- (注 12) (注 3)に示した理由により、予算額に比して決算額が430百万円多額となっています。
- (注 13) 寄附金事業費が予算段階の見込額を下回ったことなどにより、予算額に比して決算額が84百万円少額となっています。
- (注 14) 借入利率の確定により、予算額に比して決算額が8百万円少額となっています。